

学校教育目標

夢を実現する力を持つ 学びの集団作りを目指して

- ㊦ はっきりと自分の考えを持ち伝える子
- ㊧ ずっと羽束師を大切にする子
- ㊨ 感謝の心でありがとうと言える子
- ㊩ しっかりあいさつ,しっかりお返事,しっかり食べる子

しっかり学習する子

- ・学習した「知識」を「知恵」にかえる力=子どもどうして学びあう。
- ・めあてにむかっていきいきと取りくみ解決する。
- ・読書から豊かな想像性を育む。

人を大切にする子

- ・人と人とのつながりを大切にする。
- ・人として最大の喜びは人につくすこと。心のこもった声かけができる。
- ・あいさつがきちんとできる。

元 気 な 子

- ・心と体をたくましくきたえる。
- ・命を大切にしていびのびと活動する。
- ・食育の充実 食べることはやりきる力の源



校長として

- ・子どもの将来の夢が実現できる土台を6年間で作ることができる取組を進める。
- ・子どもにとってどうか、が取組の根本。
- ・学校の組織力を高める。
- ・学びの環境の充実。
- ・子どもにとって効果的な研究, 研修のあり方を考える。
- ・教職員のやる気を引き出す。
- ・危機管理の徹底
- ・校種間連携の推進

教職員として

- ・研究・F T 研の活性化
- ・学級経営力の向上(学級経営部)
- ・主体的な学び方を身に付けるための指導の充実―「アクティブラーニング」の推進
- ・読書環境の充実
- ・言語生活に根差した言語活動の実践
- ・規範意識の確立
- ・道徳教育の推進
- ・外国語活動の指導の工夫
- ・HPで情報発信を。
- ・通級教室,保健室との連携
- ・育成学級児童との交流

家 庭

- ・家庭の教育力の向上
- ・豊かな言葉で声かけを
- ・家庭学習の確立
- ・子どもの学習の足あとを見る。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」朝ごはんは必ず食べさせて登校する。
- ・あたたかい家庭は子どもの心のよりどころ
- ・子どもの話に耳を傾ける。
- ・子どもの課題を学校と共有する。
- ・規範意識の土台は家庭のルールにある。
- ・子どもと共に育む京都市民憲章の認識。

地 域

- ・羽束師地域を大事に思う子どもを育てる。
- ・学校を支える地域力の向上
- ・地域行事に参加し, 地域とのつながりを持つ。
- ・地域ぐるみの安全対策
- ・学校教育活動の情報発信。
- ・学校運営協議会の活動推進。
- ・学校評価を学校経営に生かす。

有用な社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）を作る＝ネットワーク・絆・つながり



子どもにとって「行ってよかった」教職員にとって「勤めてよかった」保護者・地域にとって「やってよかった」と言える学校を作る＝学校評価を生かした継続的な見直しと改善